



## 消防・防災分野の国際協力について

### 参事官付

消防庁では、災害から国民の生命、身体及び財産を守るという万国共通の課題に対応するため、消防本部、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）等と連携・協力をしつつ、消防・防災分野の国際協力を積極的に実施しています。以下、消防庁が行っている主な国際協力事業を紹介します。

#### 【国際消防防災フォーラム】

消防庁では、アジア諸国における消防・防災能力の向上や国際的なパートナーシップの向上を図るため、平成19年度から「国際消防防災フォーラム」を開催しています。第11回目となる本年度は11月28日(水)、29日(木)にフィリピンにおいて、我が国の消防団制度や予防行政、消防設備等の規格・認証制度を紹介するほか、CBRNE対応について情報共有を行う予定です。

また、消防防災インフラシステムの海外展開を推進する場としても活用すべく、同国の内務・地方行政省消防局等に加えて、現地消防防災関係企業を招いて、日本企業による消防用機器等の紹介や展示の場を設けることとしています。



国際消防防災フォーラム（平成29年12月マレーシア）

#### 【開発途上国等への技術協力】

消防庁では、JICAと連携し、消防本部の協力の下で課題別研修及び国別研修等を行っています。各コースの研修員は、研修を通じて身につけた日本の消防・防災に関する知識や技術を自国の消防・防災能力の向上に大いに役立てています。

##### ・課題別研修

課題別研修として、昭和62年から「救急救助技術」研修、昭和63年から「消防・防災」研修（平成25年度までは「消火技術」研修として実施）を実施しています。

「救急救助技術」研修は大阪市消防局において実施しており、これまでに70か国283名の研修員を受け入れています。また、「消防・防災」研修は北九州市消防局において実施しており、これまでに83か国273名の研修員を受け入れています。

##### ・国別研修等

開発途上国からの個別の要請に基づき実施する国別研修等を実施しています。これまでベトナム（平成21年度～平成23年度）、中国（平成21年度～平成24年度）、イラン（平成24年度～平成26年度）などの国々へ研修を実施してきました。近年では、平成26年度から平成29年度までマレーシアに対して、「消防行政能力向上プロジェクト」を実施しています。



救急救助技術研修（大阪市消防局提供）



消防・防災研修（北九州市消防局提供）

### 【海外の消防・防災関係者への情報提供等】

消防庁では、隣国である韓国の消防機関と相互理解を図り、連携・協力を推進することを目的として「日韓消防行政セミナー」を開催しています。本年度は、11月に韓国セジョン市において、大規模な火災や災害対応について情報交換が行われる予定です。

また、各国大使館、JICA、外務省等の協力依頼に基づき、諸外国からの消防防災、危機管理分野等の関係者の訪問を受入れ、それぞれの要望に応じた情報提供、関連施設の視察等を実施しています。平成29年度は、シンガポール、チリ、パキスタン、ベトナムなど13か国約80名の訪問者に対して、日本の消防・防災制度等の紹介や災害対応時の消防庁のオペレーションルームである消防防災・危機管理センターの視察を実施しています。

### 【国際緊急援助活動】

国際消防救助隊（IRT）は、海外で大規模災害が発生した際、被災国からの要請に応じ派遣される国際緊急援助隊の一員であり、平成29年度はメキシコ地震災害及び台湾東部における地震災害に派遣されました。（派遣実績は、昭和61年の発足以来、21回を数えます。）

消防庁では、今後の派遣に備えるため、国際緊急援助隊の一員となりうる消防本部の救助隊員を対象として、捜索救助に関する国際的なガイドラインや活動時に必要となる技術に関する研修を実施しており、海外の被災地での救助活動において求められる知識、技術（手法）の共有及びチームビルディング（連携）の向上を図っています。

なお、国際緊急援助隊救助チームは、平成22年3月に国際捜索救助諮問グループ（INSARAG）による能力

評価において、最高分類である「Heavy（ヘビー）」の評価を受けました。その後、平成27年3月に更新評価を受検し、再び「Heavy（ヘビー）」の評価を受けており、派遣時の一層の活躍が期待されています。



メキシコ合衆国における捜索救助活動（平成29年9月JICA提供）

開発途上国では、経済成長とともに都市部の人口が急増する中、これまで以上に高度な消防・防災体制の構築が必要とされています。これに伴い、我が国の消防・防災の知見、技術、経験等を学び、取り入れたいという諸外国からのニーズも拡大する傾向が見られます。

国際協力を積極的かつ継続的に実施するためには、消防本部をはじめ、関係機関との連携が不可欠であります。関係者の皆様におかれましては、消防・防災分野における国際協力への御理解と御協力を引き続きお願いいたします。

#### 問い合わせ先

消防庁参事官 手島、村田、長戸  
TEL: 03-5253-7507